

# 地域経済産業の動向と現状について

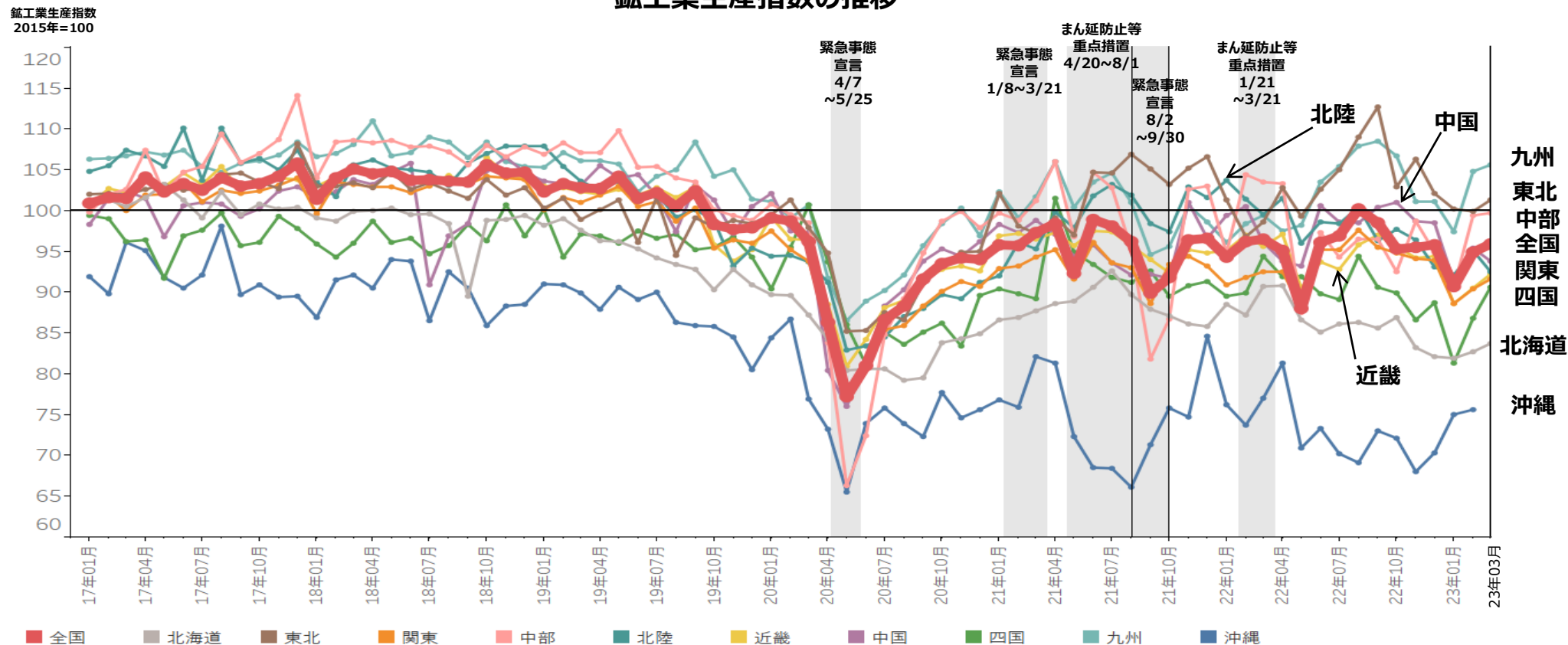
2023年5月29日

地域経済産業グループ<sup>o</sup>

# 1. 鋳工業生産の動向（全国、地域別）

- 2012年末からの緩やかな回復基調の中、**鋳工業生産指数は、2019年秋頃まで2015年基準を上回る水準で推移**。一方、**新型コロナウイルス感染症の影響**により、**2020年2月から5月まで鋳工業生産指数は大幅に低下**。
- その後、**中国でのロックダウンの影響**や、**ロックダウンの解除等により、生産は上昇・低下の動きが続いたものの、半導体を含む部材供給不足の影響の緩和等により、足下の生産は持ち直しの動き**。

鋳工業生産指数の推移



（出典）経済産業省「鋳工業生産指数の動向」を基に作成。

（注1）2015年=100、季節調整済。

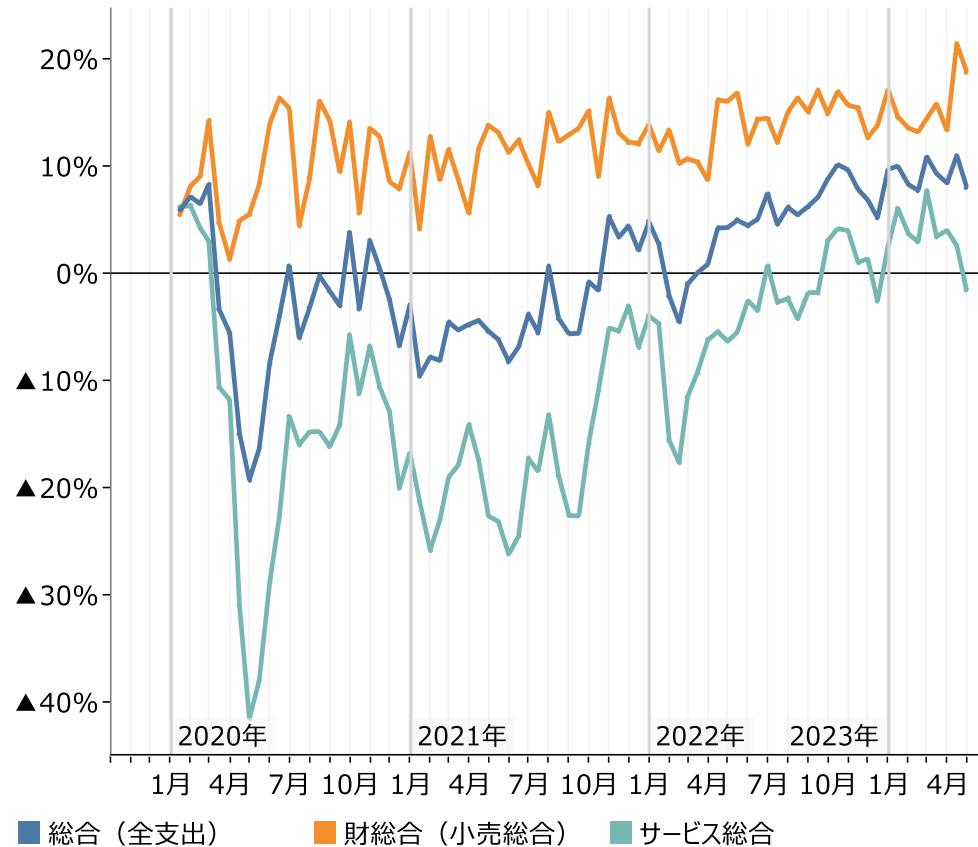
（注2）2023年3月の全国は確報値、それ以外の地域は速報値。（沖縄は2023年3月の数値が未公表のため、2月確報値が最新。）

（注3）緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の期間は、首都圏1都3県に発令されていた期間。

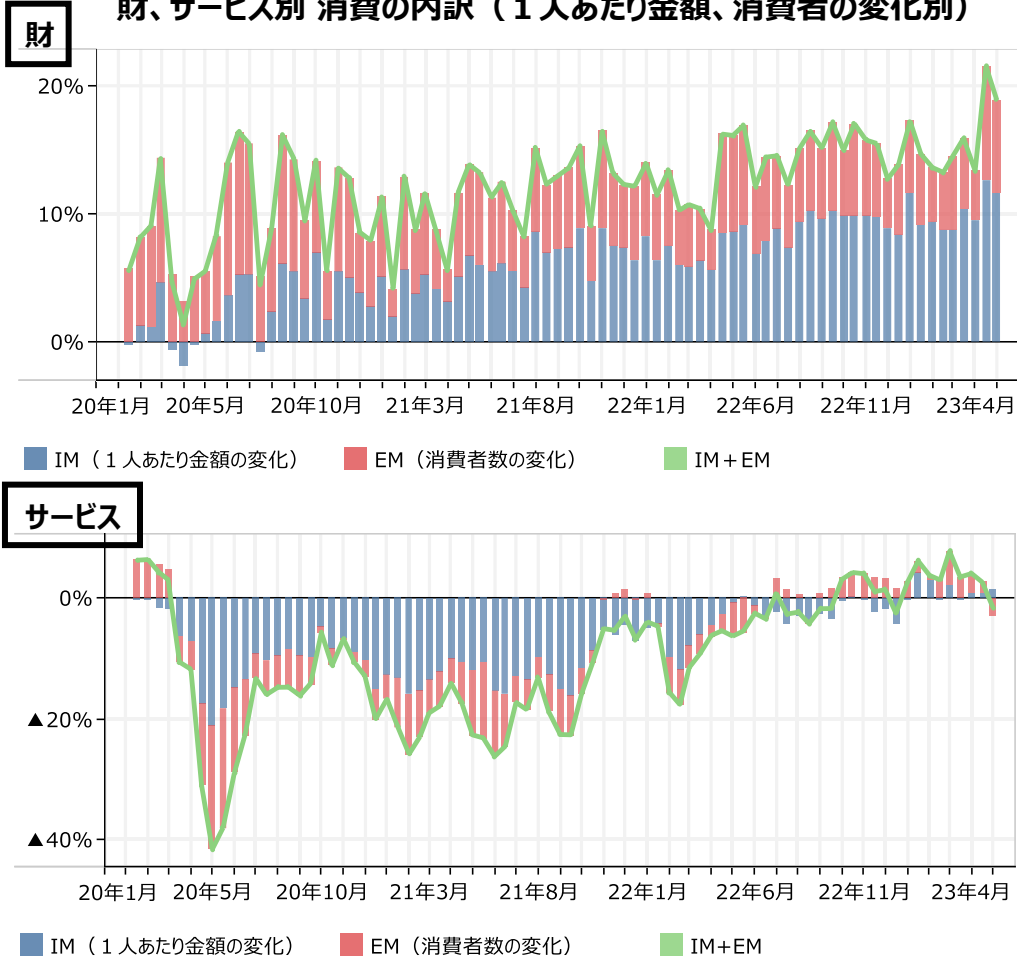
## 2. 消費の動向（財、サービス別）

- 個人消費は緩やかな持ち直し。財が弱めの動きとなる中で、サービスの持ち直しが消費全体の回復を牽引。
- 消費の内訳をみると、足下では、サービスにおける消費者数の増加と財における1人あたり消費額の増加が消費水準の上昇に寄与。

カード支出に基づく消費動向（財、サービス別）



財、サービス別 消費の内訳（1人あたり金額、消費者の変化別）

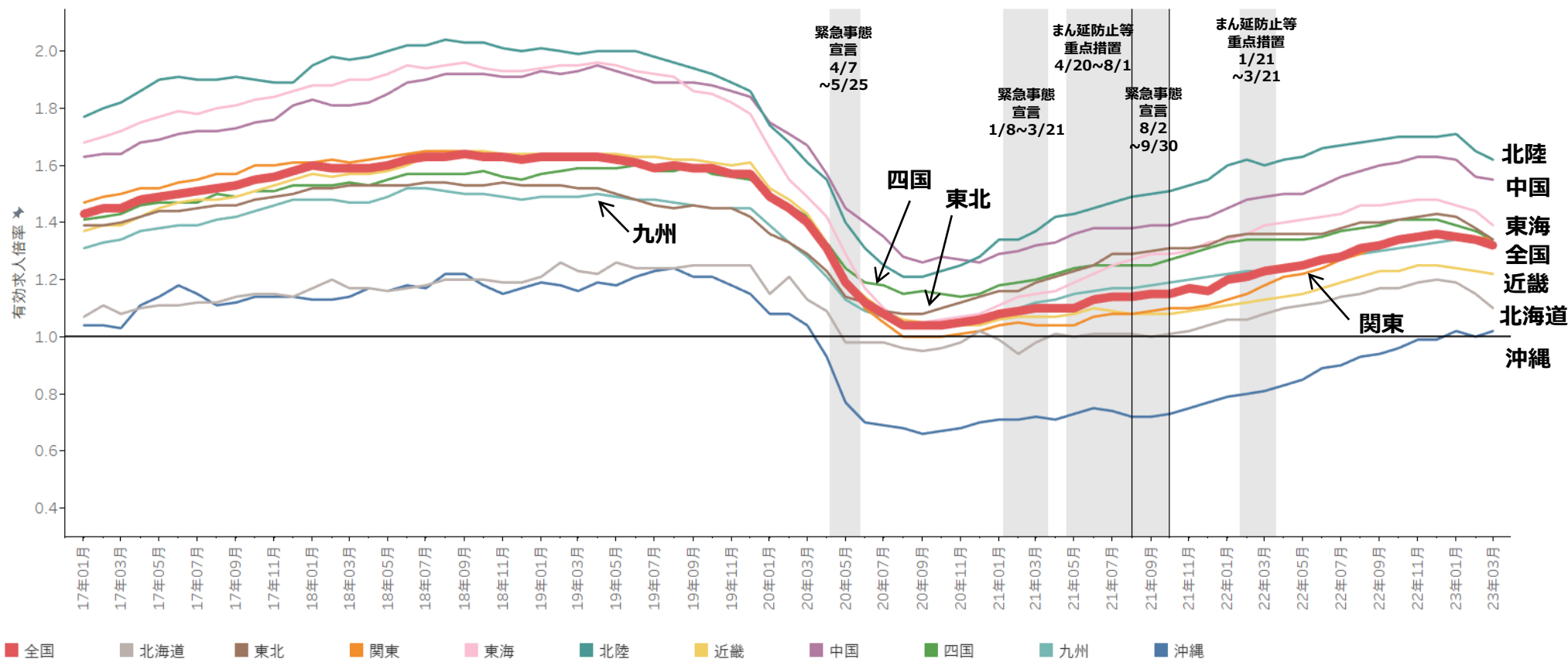


（出典）株式会社ナウキャスト、株式会社ジェーシービー「JCB消費NOW」を もとに中小企業庁作成。

（注）2016～2018年度における同時期平均対比。最新の数値は2023年4月30日時点。

### 3. 有効求人倍率の推移（全国、地域別）

- 2017年1月以降、堅調に推移していた有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年9月頃まで、全ての地域において低下。
- その後、回復傾向が続いており、新規求人数については、ウイズコロナの下での景気の持ち直し等により、特に、宿泊・飲食等の対面型サービス業において増加。

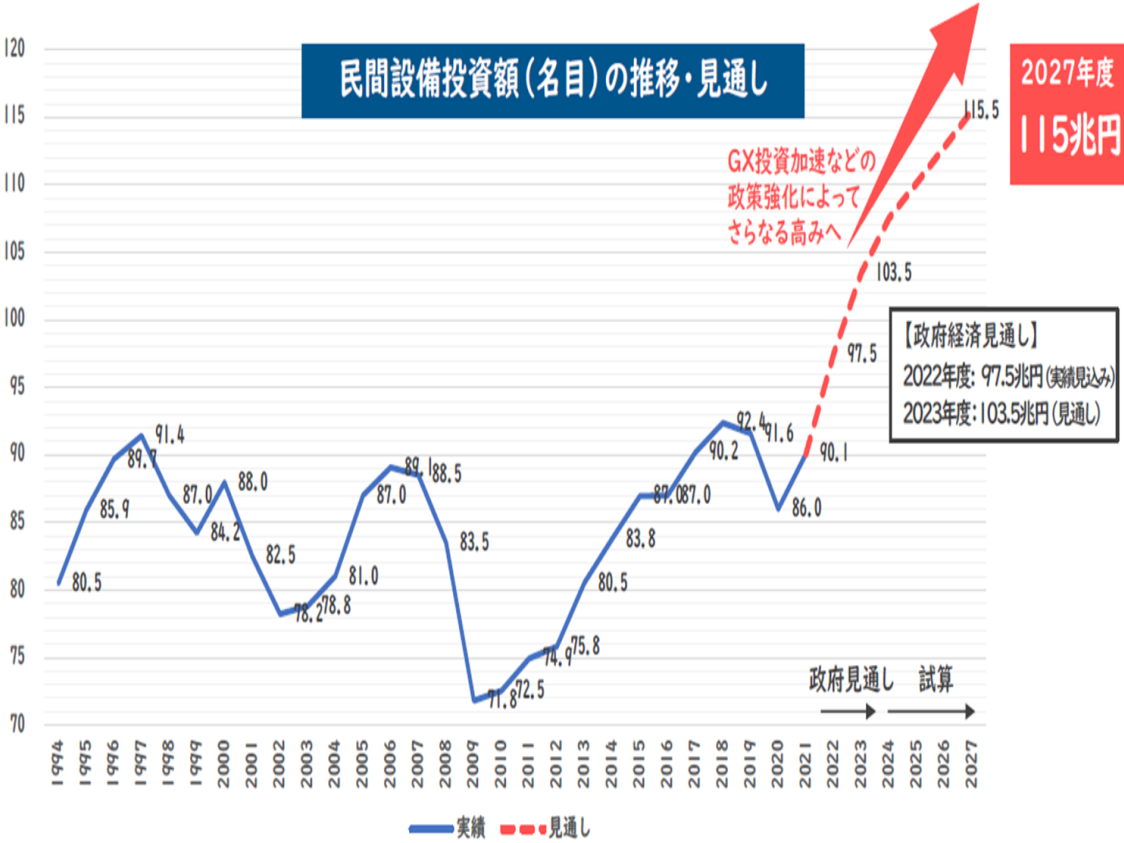


(出典) 厚生労働省「職業安定業務統計」を基に作成。

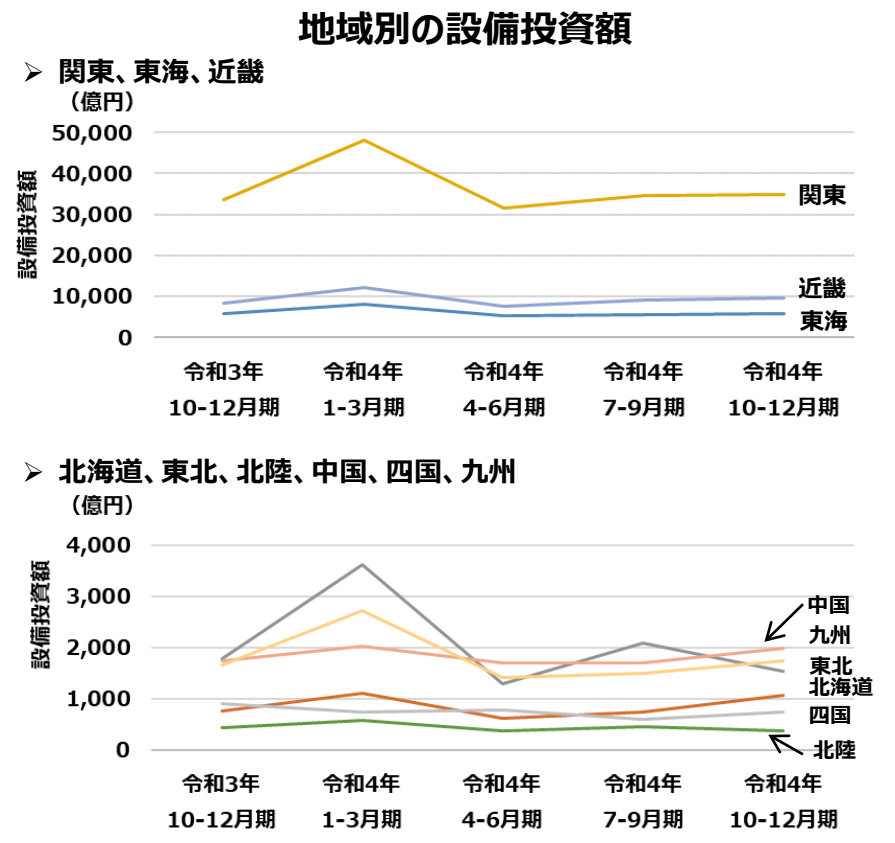
○東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島 ○関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡  
○北陸：富山、石川、福井 ○東海：岐阜、愛知、三重 ○近畿：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山  
○中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口 ○四国：徳島、香川、愛媛、高知 ○九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

# 4. 投資の動向（全国、地域別）

- 設備投資には、企業の投資需要の拡大を通じて、短期的には景気の拡大を支えるといった側面に加え、生産能力の拡大を通じて、中長期的な成長力を高めるといった側面もある。
- 「2027年度 115兆円」という民間の目標も踏まえれば、設備投資による今後の地域への押し上げ効果も期待される。



（出典）「第2回 国内投資拡大のための官民連携フォーラム」（令和5年4月6日）  
（一社）日本経済団体連合会 資料



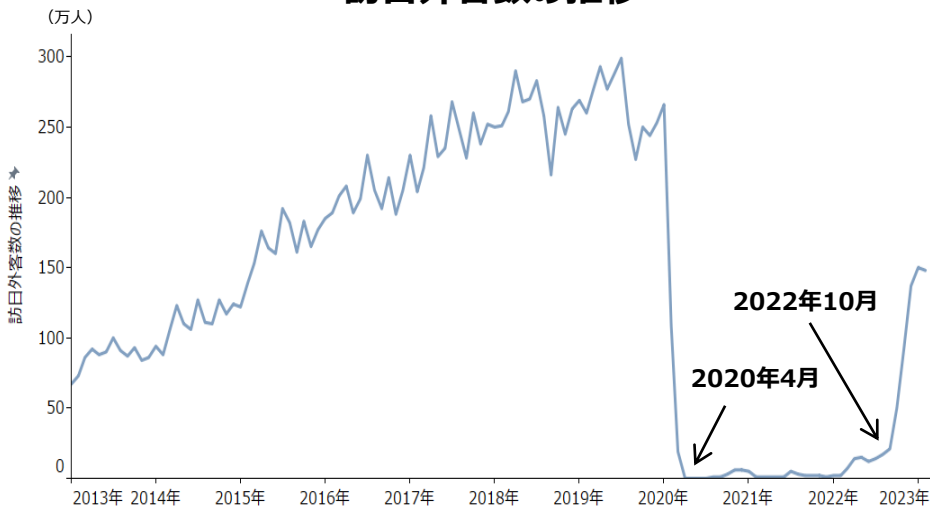
（出典）財務省「法人企業統計調査」を基に作成。各地域は資本金10億円以上の法人を対象とする。

- 東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
- 北陸：富山、石川、福井
- 東海：岐阜、静岡、愛知、三重
- 近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
- 四国：徳島、香川、愛媛、高知
- 九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

# 5. インバウンドの動向（全国、地域別）

- インバウンドは2013年に1000万人を突破し、その後も増加で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年2月以降大幅に低下。
- その後も低迷を続けていたが、水際対策の緩和やコロナ禍の影響が弱まったこと等により、足下ではインバウンドが大幅に増加。

訪日外客数の推移



(出典) 左上図は、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客統計」を基に作成。

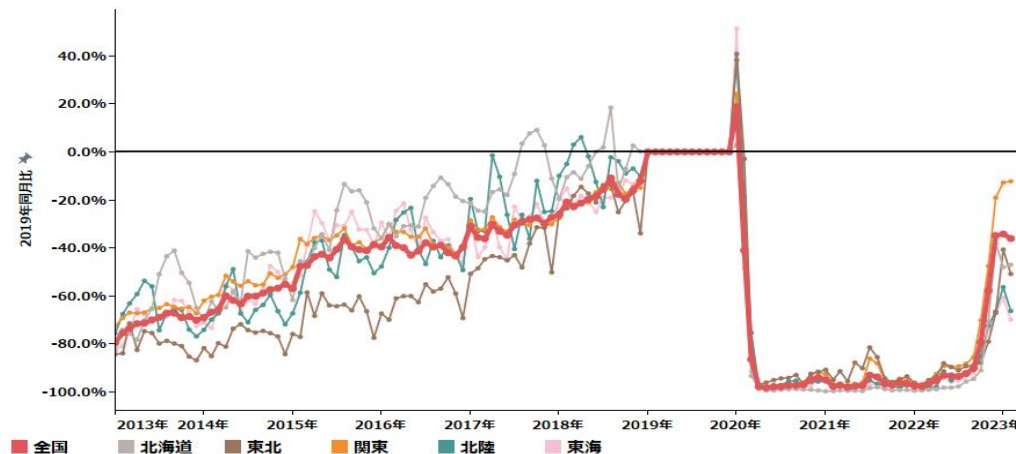
訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

(出典) 右上図、右下図は、観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に作成  
平成16年度事業所・企業データベース（総務省）を基にした、従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所を調査対象とする。

- 東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡
- 北陸：富山、石川、福井
- 東海：岐阜、愛知、三重
- 近畿：福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
- 四国：徳島、香川、愛媛、高知
- 九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

外国人延べ宿泊者数の推移（2019年同月比）

➤ 東日本



➤ 西日本

